

事業評価書

補助事業名	通信施設:共同受信施設改修事業				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市入間川 3-29-3他95箇所				
補助事業の成果の目標	<p>狭山市では、入間飛行場に飛来する航空機を原因とするテレビ受信困難地域において、都市型CATV対応施設整備により、受信困難地域のテレビ視聴環境を整備してきており、今後も引き続き当該施設を維持していくことが求められている。</p> <p>しかし、当該施設を構成する鋼管柱及びケーブルの一部においては老朽化が著しく、平成25年9月に鋼管柱が腐食により倒れたことで、家屋の外壁を直撃し、損傷を与えた。その後、鋼管柱の状態調査を実施したところ、鋼管柱の腐食が確認されたことから、順次、鋼管柱の撤去及びケーブルの張替を実施する。</p> <p>撤去後の鋼管柱の新設は行わず既存の電柱に共架することとすることにより、民地、住宅密集地に存在する鋼管柱が無くなり、住民の安全の確保を図ると共にケーブルの張替により、視聴環境の維持を図る。</p> <p>【参考指標】 市所有鋼管柱 256本(平成30年8月時点)</p>				
補助事業の内容	鋼管柱の撤去及びケーブルの張替				
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和2年度				
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度以降予定	計
	事業費	円 4,969,404	円 30,769,200	円 61,700,400	円 97,439,004
	交付金額	円 4,800,000	円 26,458,000	円 50,000,000	円 81,258,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 周辺住民に聞き取り調査を実施した結果、改修前は老朽化した鋼管柱に不安を覚えていたり、景観が悪い等の意見があったが、改修工事後には解消されたといった回答が得られたため、周辺住民の安全確保、生活環境の改善が図られたと判断する。また、視聴環境に関して悪化したとの意見は無かったことから、視聴環境は維持できたものと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び市公式ホームページに掲載住民へのアンケート調査用紙に記載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設:防災備蓄倉庫購入				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市狭山台4丁目25番地 他4箇所				
補助事業の成果の目標	<p>当市では、市内の指定避難所等に防災備蓄倉庫を設置し、災害発生時の応急対策活動の円滑化を目的に、当面必要な食料、生活資材、活動用機材等を備蓄している。しかし、既存のコンテナ式防災備蓄倉庫については、1箇所を除き、設置後30年以上が経過し、老朽化に伴う損傷が著しく、食料や飲料水等の備蓄環境には適していない状況である。</p> <p>そこで、平成32年度を目標に、既存のコンテナ式防災備蓄倉庫23箇所について、蓄電池機能を備えた太陽光発電設備やLED照明、換気扇、非常用コンセントなどを備え付けたコンテナ式防災倉庫への更新整備を進めるとともに、新たに指定避難所となる施設等9箇所に同様の防災備蓄倉庫を設置し、迅速な物資供給体制を整備することにより、指定避難所の防災機能及び自立機能の強化を図る。</p> <p>なお、今年度は既存の防災備蓄倉庫5箇所を更新する。</p> <p>【参考指標】 コンテナ式防災備蓄倉庫設置箇所数(太陽光発電設備等付) 既設箇所数 22箇所/計画箇所数 32箇所</p>				
補助事業の内容	防災備蓄倉庫の購入(更新:5箇所)				
補助事業の始期及び終期	平成26年度から平成32年度				
事業費及び交付金額		29年度まで	30年度	31年度以降予定	計
	事業費	円 72,174,618	円 16,470,000	円 18,720,000	円 107,364,618
	交付金額	円 65,170,000	円 14,000,000	円 15,900,000	円 95,070,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 今年度の整備が完了したことで、市のコンテナ式防災備蓄倉庫更新・新規設置計画の達成割合は27箇所と全体の約85%に達していることから、指定避難所における防災機能、自立機能の強化が図られたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ・倉庫扉に防衛省の交付金を活用して設置した旨を掲示 ・市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」で周知</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	入間飛行場関連公共用施設(消防に関する施設:消防ポンプ自動車購入)整備事業				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市狭山574-5				
補助事業の成果の目標	<p>消防組織法第9条において、市町村に消防団の設置が義務付けられているなかで、総務省消防庁から告示された「消防操法の基準(昭和47年消防庁告示第2号)」を満たす必要があることから消防団に消防車両を配備して、地域の防災力を低下させることなく維持することを図り、地域住民の安心・安全な生活環境を整備する。このような中で、平成12年3月に配備した狭山市消防団第1分団第1部の消防ポンプ自動車が、狭山市消防団消防自動車等の更新計画に基づく車両更新期間(18年)を満了していることから、車両の更新する。</p> <p>【参考指標】 第1分団第1部団員数(平成30年4月1日現在) 18名 平成29年度における水火災への第1分団第1部の出動件数 17件 平成29年度における第1分団第1部の出動延べ人員数 1,062名</p>				
補助事業の内容	消防ポンプ自動車(CD-I型)購入				
補助事業の始期及び終期	平成30年9月4日～平成31年3月15日				
事業費及び交付金額		29年度以前	30年度	31年度以降予定	計
	事業費	— 円	17,088,060 円	— 円	17,088,060 円
	交付金額	— 円	10,000,000 円	— 円	10,000,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 消防ポンプ自動車を購入(更新)したことで、故障等の不安が解消されるとともに、揚水時間が早くなった。また、ホースカーを導入したことにより、消火活動時のホースの展開が早くスムーズに行えるようになり、現場到着から放水までの初期消火活動までにかかる時間を短縮することができた。 このことにより、地域の防災力・消防力の充実強化が図られ、災害を最小限に抑えることが可能な、安全安心な生活環境を整備することができた。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 消防ポンプ自動車左右側面に、防衛省の交付金を活用して整備した旨を明記。基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に掲載。 狭山市公式ホームページ及び狭山市消防団ホームページに掲載中。 狭山市消防団広報誌(令和元年10月10日発行)に掲載し、市内全地区回覧を実施予定。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	狭山市総合計画実施計画に基づき、非常備消防機械施設等整備事業として消防自動車の更新事業を実施していく。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	産業の振興に寄与する施設:畑地かんがい防除施設改修事業				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市 大字南入曾969-1				
補助事業の成果の目標	<p>本施設は、昭和54年度に建設されたもので、深井戸から地下水を揚水し、加圧送水施設より、パイプラインへ配水して、畑地への灌水や茶畑への薬剤防除用の水を供給する施設である。</p> <p>このうち、設置後未交換であり老朽化が著しい深井戸用水中ポンプ1基と経年変化による漏水が見られる配水用加圧送水ポンプの2基について改修し、安定的な利用環境を確保する。</p> <p>また、当施設は狭山市地域防災計画により狭山市指定防災井戸に指定されているため、災害時の地域拠点として重要な施設である。</p>				
補助事業の内容	<p>全体工事 深井戸用水中ポンプ φ100mm 1基</p> <p>配水用加圧送水ポンプ φ80mm 2基</p>				
補助事業の始期及び終期	平成30年度				
事業費及び交付金額		H29年度以前	H30年度	R元年度以降予定	全体
	事業費	円 0	円 10,648,800	円 0	円 10,648,800
	交付金額	円 0	円 9,000,000	円 0	円 9,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>地元畑地かんがい組合員へアンケート調査を行った結果、組合員の大半の方から、施設の故障の不安が解消され、今後も継続して、畑かん施設を利用したいとの回答が得られたことから、安定的な利用環境が図られたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p>工事のお知らせ、工事看板、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに調整交付金活用事業であることを掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設:道路維持作業車購入事業				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市入間川1-23-5				
補助事業の成果の目標	<p>狭山市の道路維持作業車は、道路施設等の維持管理作業のためにほぼ毎日使用し、道路交通の安全を確保している。 更新を予定している道路維持作業車は購入してから15年経過しており、老朽化が著しく、故障する回数が多く、このままだと運用に支障を来しかねない。 そのため、老朽化した車両の更新を行い、道路施設等の安定的な維持管理と、道路陥没や災害時の緊急対応に備えることで、市民の道路交通の安全と生活環境の安定を図る。</p> <p>【参考指標】 ・道路維持作業車 年間出動日数238日(平成29年度)</p>				
補助事業の内容	道路維持作業車1台購入				
補助事業の始期及び終期	平成30年度				
事業費及び交付金額		29年度以前	30年度	31年度以降予定	計
	事業費	円 0	円 3,127,980	円 0	円 3,127,980
	交付金額	円 0	円 3,000,000	円 0	円 3,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 車両の更新により、旧車両の修理等での不稼働日数が解消されたことで機動力が強化された。 また、平時における道路維持作業や道路パトロールが円滑に行われており、道路施設等の安定的な維持管理と、台風等緊急対応時にも迅速に対応できた。 よって、市民の道路交通の安全と生活環境の安定を図ることができていると判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 ・車体に交付金事業であることを明記 ・基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び公式ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設:市道A第141号線外3線改良舗装				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市 大字東三ツ木 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に改良舗装工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は川越市境を起点として市の中心部、国道16号線及び入間川を横断し、隣接する日高市に抜ける幹線道路として40年前に整備された重要な路線である。</p> <p>近年では都市計画道路東京狭山線の開通や最寄駅から2kmの立地条件から宅地開発は進み、人口及び車両交通量も増加。舗装の劣化による破損が著しく車両走行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化等が生じている。</p> <p>そこで、舗装を打ち替えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 既設幹線道路にかかる今後3年間の舗装改修計画 12路線／延長:6085m※ ・うち当路線の計画延長：320m(※に対する割合5.3%) ・うち30年度整備延長：320m(※に対する割合5.3%)</p>				
補助事業の内容	<p>全体工事延長 L=2,079m (H29年度まで L=1759.0m) (H30年度 L=320.0m) (H31年度以降 L= 0m)</p> <p>道路幅員 W=8.0m 舗装工 一式</p>				
補助事業の始期及び終期	平成24年から平成30年度				
事業費及び交付金額		29年度以前	30年度	31年度以降予定	計
	事業費	円 114,588,583	円 12,910,320	円 0	円 127,498,903
	交付金額	円 103,400,000	円 12,600,000	円 0	円 116,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 当初の計画通り事業を完了したこと、並びに、地域住民等へのアンケートの結果、路面の平坦性、騒音及び振動等が改善されたとの回答が得られたことから、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上が図られたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 工事のお知らせ、工事看板、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに調整交付金活用事業であることを掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>平成24年度より7年間の事業であり、本年度で事業完了となった。</p> <p>平成24年度から平成30年度の整備延長L=2079mの区間において、交通の円滑化及び走行性の向上が得られ地域環境が改善された。</p> <p>また、アンケート結果のその他の項目において、要望や指摘などの意見もあることから、今後の対応について事業内容の改善を図りたい。</p> <p>・路面切削機の騒音に対する要望には対応する重機の選定のほか、音による合図を視覚によるものとする。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設:市道幹第57号線改良舗装				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市 大字堀兼・大字上赤坂 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に改良舗装工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は古くから草刈街道として親しまれ、主要地方道川越入間線から、主要地方道川越所沢線を結ぶ県道を補完する幹線市道として重要な路線である。</p> <p>近年では、隣接する川越狭山工業団地の物流ルートとして大型車交通量が増加し、舗装の劣化による破損が著しく車両走行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化等が生じている。</p> <p>そこで、舗装を打ち替えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 既設幹線道路にかかる今後3年間の舗装改修計画 12路線/延長:6085m※ ・うち当路線の計画延長: 1850m(※に対する割合30.4%) ・うち平成30年度整備延長:890m(※に対する割合14.6%)</p>				
補助事業の内容	<p>全体工事延長 L=2,200m (H29年度 L=380.0m) (H30年度 L=880.0m) (H31年度 L=940.0m) 道路幅員 W=6.3m~8.5m 舗装工一式</p>				
補助事業の始期及び終期	平成29年度から平成31年度				
事業費及び交付金額		29年度以前	30年度	31年度以降予定	計
	事業費	円 22,119,480	円 29,837,160	円 31,133,160	円 83,089,800
	交付金額	円 21,400,000	円 28,400,000	円 25,000,000	円 74,800,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 昨年度より事業が開始し、アンケートの結果から施工中の騒音や振動に対する苦情が多少あったが、騒音及び振動が改善されたとの回答が多く得られたことから、地域住民の生活環境の向上が図られたと判断する。</p> <p>また、路面状況が改善されたことにより、交通安全面について向上したと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 工事のお知らせ、工事看板、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに調整交付金活用事業であることを掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>昨年度より3年間の事業であり、本路線において劣悪な路面状況が続くため、来年度完了を目指し、舗装の打替えによる地域の環境改善に努める。</p> <p>また、アンケート結果のその他の項目において、施工中の騒音に対する要望には、重機の選定や走行速度の更なる抑制を行ない、改善に努める。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	スポーツ又はレクリエーションに関する施設:智光山公園施設改修事業				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市柏原地内				
補助事業の成果の目標	<p>智光山公園は、狭山市の北部に位置する約53.8ヘクタールの敷地を有する都市公園であり、園内にこども動物園、市民総合体育館、都市緑化植物園、釣場、アスレチック等が整備され、市内外の利用者により利用されている。</p> <p>このうち、老朽化が著しいアスレチック遊具においては、一部の遊具を除き利用を制限している状況となっており、利用者から改修を望む声が寄せられている。</p> <p>そのため、アスレチック遊具を改修することにより、都市公園利用者が快適に利用できる環境を整え、市民のレクリエーションの充実を図る。</p> <p>【参考指標】 智光山公園利用者数 平成29年度 698,115人</p>				
補助事業の内容	遊具改修 3基				
補助事業の始期及び終期	平成27年度から平成30年度				
事業費及び交付金額		29年度以前	30年度	31年度以降予定	計
	事業費	円 34,674,480	円 16,081,200	円 0	円 50,755,680
	交付金額	円 28,600,000	円 12,700,000	円 0	円 41,300,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 アスレチック遊具について、多数の利用者より「子ども達が楽しんで遊んでいる」との声を頂いている。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 防衛省の交付金を活用して整備した旨を、公園パンフレットに記載し公園内施設に配置、「狭山市の基地対策」及び市ホームページへ掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	スポーツ又はレクリエーションに関する施設: 柏原地区公園整備事業				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市柏原地内				
補助事業の成果の目標	<p>狭山市の北部に位置する2,000㎡弱の柏原幼稚園跡地を活用して都市公園(街区公園)の整備を実施する。</p> <p>平成27年4月の統廃合により廃園となるまで、地域住民が行う夏祭り、ラジオ体操等で園庭が利用されており、近隣に代替えとなる施設が無いことから、地元自治会より地域イベントの開催や子ども達が日常的に遊べる場所として公園整備の要望があり、地域の子供達から高齢者まで利用できる都市公園(街区公園)として跡地利用されることが政策決定された。</p> <p>よって、地域住民がイベント等を開催し交流の場とするとともに、災害時に一時的な避難場所として活用する。</p> <p>【参考指標】 柏原第6区自治会 平成30年度 430世帯</p>				
補助事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ダスト舗装 1550㎡ ・ベンチ 2箇所 ・トイレ 1箇所 ・水飲み場 1箇所 				
補助事業の始期及び終期	平成30年度から平成30年度				
事業費及び交付金額		29年度以前	30年度	31年度以降予定	計
	事業費	円	円 15,822,000	円 0	円 15,822,000
	交付金額	円	円 14,000,000	円 0	円 14,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>地元自治会への聞き取りを行ったところ、「近隣住民のラジオ体操等に使用され、憩いの場となっており、夏祭りも実施する予定でいる」とのこと。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内施設に調整交付金事業で整備した旨を掲示した。 ・基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び、市ホームページに掲載する。 				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：中学生学習支援事業								
補助事業者名	狭山市								
実施場所	狭山市内中学校(8箇所)								
補助事業の成果の目標	<p>本市の中学生の学力は、平成25年度までは全国及び埼玉県の平均と同程度であったが、平成26年度及び平成27年度については下回ってきているという状況にあり、また、家庭学習の時間も全国及び埼玉県に比べ短いという結果が出ている。これらを踏まえ、中学生の確かな学力の定着及び向上が課題となっている。</p> <p>そこで、学校の学習指導を補完するとともに、家庭学習の励行を促すため、各中学校区毎に生徒が学校の授業以外で学習できる環境を整え、多くの生徒の参加を促す。これにより、生徒の学習への興味・関心をさらに高め、分からないところや学習の躓きを無くしていくとともに、多くの生徒が家庭学習の習慣を身につけることで、参加する生徒一人一人の学力の定着及び向上を図る。</p> <p>【参考指標】 市内中学校の生徒数：3,413人(平成30年1月20日現在)</p>								
補助事業の内容	学校の授業以外で生徒が学習する機会を設け、学習活動を支援する。								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成27年度から平成37年度 基金の処分：平成28年度から平成37年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	27	16,106,000				16,106,000	0	16,106,000	0
	28	14,000,000				14,000,000	7,470,000	22,636,000	7,476,300
29	14,000,000				14,000,000	6,500,000	30,136,000	6,775,054	
30	0				0	6,400,000	23,736,000	6,505,763	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 学習習慣の定着について、参加生徒へのアンケートから、平成30年度埼玉県学力・学習状況調査の埼玉県結果を上回る割合である、9割以上の参加生徒が家庭学習を行っているとしており、また、家庭学習の習慣が身につけてきたとの意見が7割以上、家庭での勉強のやり方が分かってきたとの意見が7割以上、定期テストに向けての勉強が計画的にできているとの意見が7割以上であることから確かな学力及び家庭学習習慣の定着が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 生徒及び保護者向けの募集案内、狭山市公式ホームページに特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	医療に関する事業: 予防接種助成事業								
補助事業者名	狭山市								
実施場所	狭山市内医療機関								
補助事業の成果の目標	<p>予防接種法に規定されている麻疹(はしか)・風疹(三日はしか)は感染力の強い疾病であり、また、ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風は感染すると重篤になる場合が多い疾病である。これに対して、最も有効な対策は発生の予防であり、その手段として、予防接種により免疫を獲得することが重要とされている。</p> <p>本市では、予防接種に要する費用を負担することなく、接種を受けられる環境を整備するとともに、市民に向けて適切な情報提供を行っており、対象者の9割以上が接種を受けている状況である。そこで、本事業を継続して実施し、ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、麻疹(はしか)、風疹(三日はしか)、破傷風の発生及びまん延の防止に取り組むことで、市民の健康増進を図る。</p> <p>【参考指標】 平成30年度麻しん、風しん接種対象者数: 2,075人(平成30年12月31日時点) 平成30年度四種混合(ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風)接種対象者: 995人(平成30年12月31日時点)</p>								
補助事業の内容	ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、麻しん、風しん、破傷風に係る予防接種費の助成								
補助事業の始期及び終期	基金の造成: 平成23年度から令和7年度 基金の処分: 平成24年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	23	62,216,000				62,216,000		62,216,000	
	24	72,468,000				72,468,000	40,000,000	94,684,000	46,154,905
	25	56,009,000				56,009,000	25,000,000	125,693,000	26,070,500
	26	25,000,000				25,000,000	25,000,000	125,693,000	25,407,839
	27	10,000,000				10,000,000	24,000,000	111,693,000	24,437,997
	28	29,749,000				29,749,000	24,000,000	117,442,000	24,657,396
	29	10,086,000				10,086,000	23,000,000	104,528,000	23,485,058
30	1,900,000				1,900,000	40,000,000	66,428,000	52,145,890	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 麻疹・風疹及び四種混合予防接種助成事業は、平成30年度の接種対象者の9割以上が予防接種を受けていることから、市民の健康増進が図られたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 「健康カレンダー」、狭山市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								